寫眞週報

情報局編輯
二月廿六日・第百五十七號・十七セン

建國九年の滿洲國

昭和十五年……
郵便物認可 昭和十六年二月廿六日發行（毎週一回水曜日發行） 第百五十七號

滿洲國が生れて明年は十周年になる

三月一日、われ〳〵は東亞の榮光輝かしく滿洲國建國第九周年を迎へる

張政權の苛斂誅求の下疲弊と未開の曠野に新秩序建設の烽火をあげた滿洲事變が勃發して既に十年來年は建國十周年の記念すべき年がくる。滿洲國ではこの輝しい年を控へて早くも喜びに滿ちた數々の慶祝行事が豫定され、その準備にとりかゝつてゐると傳へられるあのころの滿洲、そして今の滿洲國、顧ればこのわづかな間にこの曠野はすばらしい發展を遂げたものだ。治安確立に、經濟開發に文化の向上に、世界のいづれにこの國のやうにすく〳〵と育ちえた國があらうか

いまや滿洲國は更生中華民國と共に東亞新秩序の重要な一環としての役割を果さうとしてゐるが、それには伸びてきた滿洲國をいよいよすこやかに育て上げなければならない。その責任はわれ〳〵の双肩にある、血を以て今日を築きあげた先驅者の忠靈のためにもわれ〳〵は責めを新らたにしなければならない

⇧昨康德七年新京市に、建立された建國忠靈廟、建國の尊い礎となつた忠魂に詣でる人の數はいつの日にも絶えまがない　撮影　佐藤甫

滿洲國

陸軍

⇨涯しない曠野に演習作戦は進む。報告をきく小隊長

撮影 頼 謙次

⇧敵機來るか？ 聽音機に耳をばたてる國軍兵士

撮影 新田 幹吾

敵機要撃の命に、勇躍飛び立つ荒鷲⇩

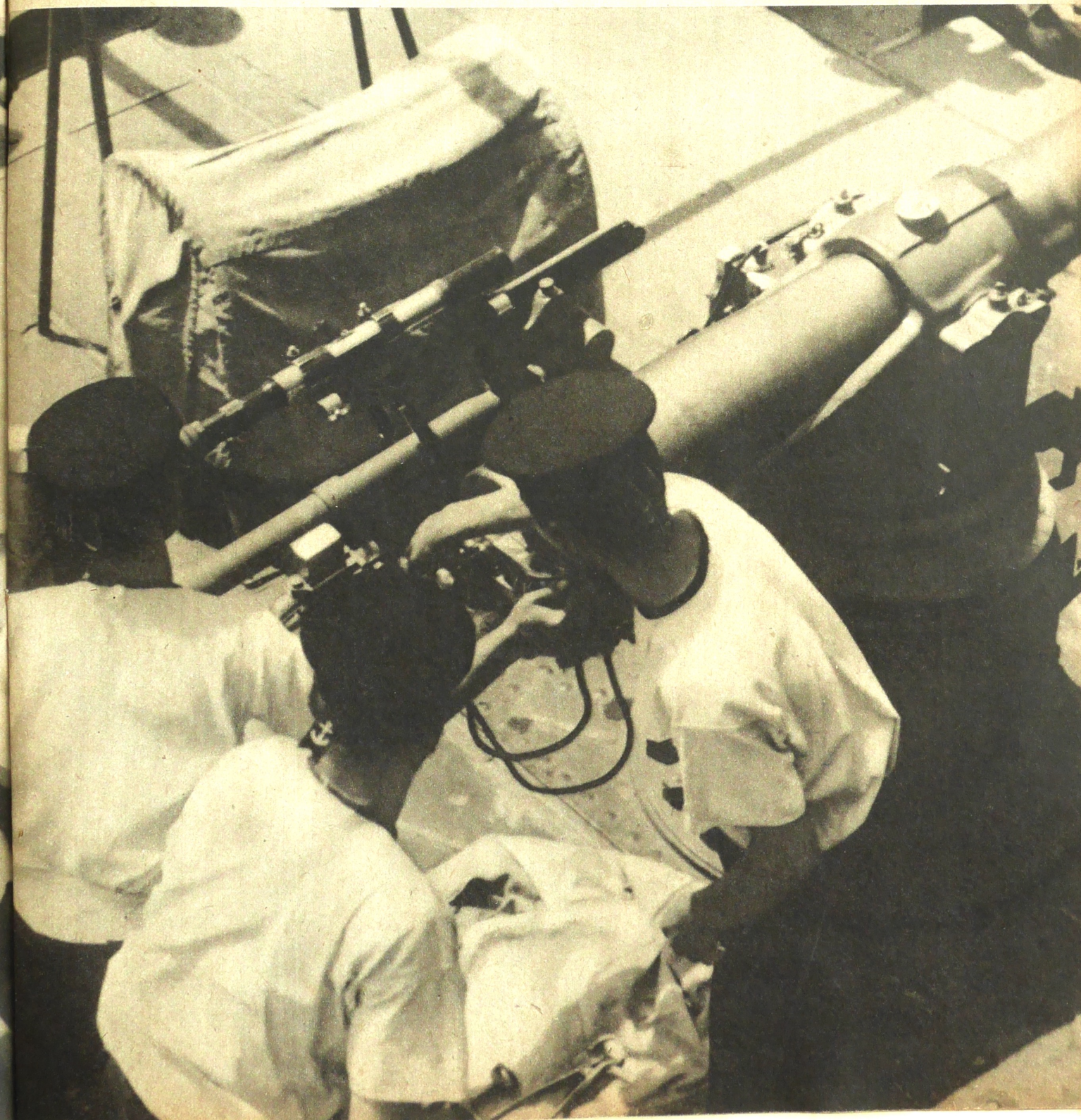
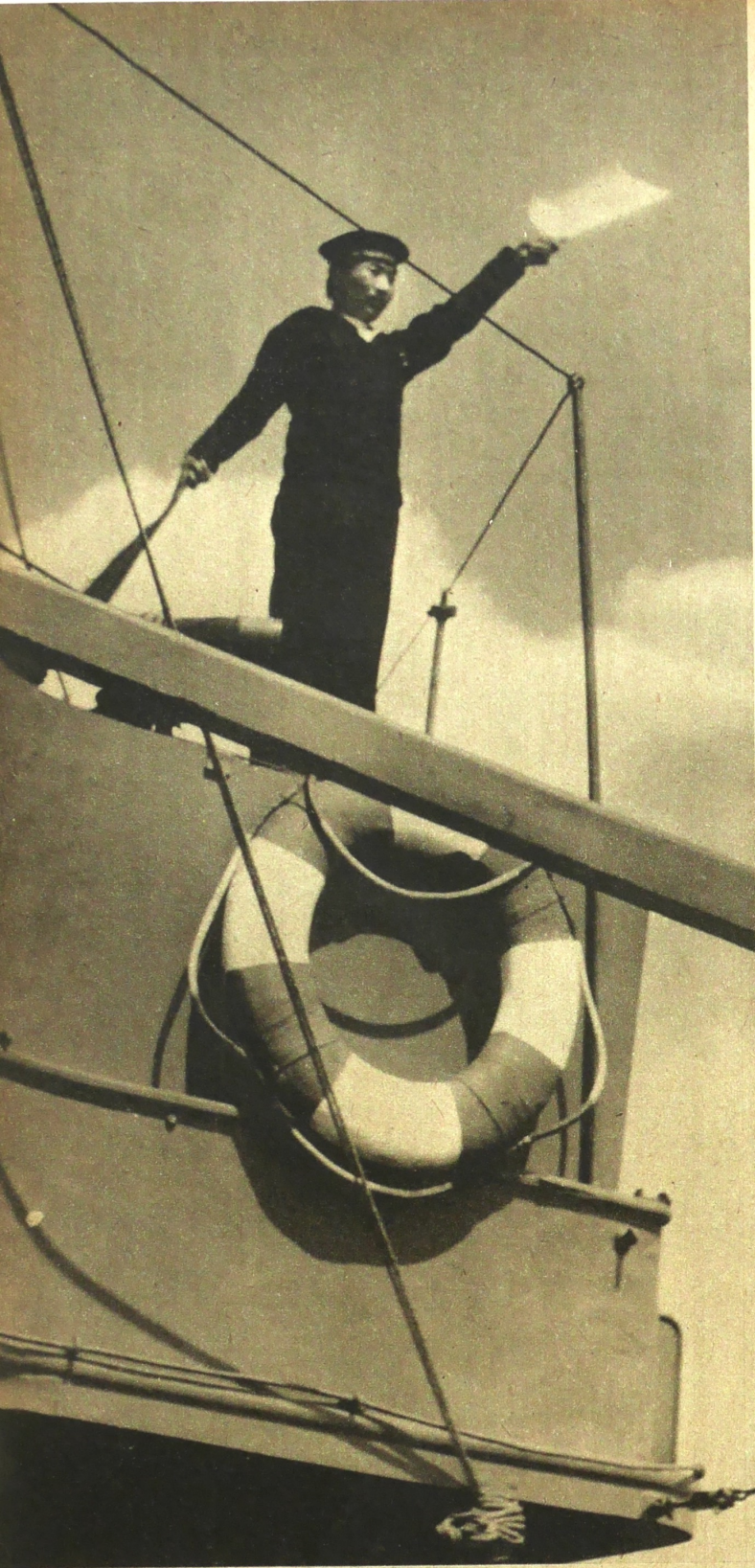
撮影 福澤 未治

『兵強くして國榮ゆ』の諺通り、若き滿洲國が營々と國際的地位を高めつゝある蔭にはまた國軍のたゆみない成長がある。康德七年國民皆兵を目標とする國兵法が實施されて精鋭なる國軍の養成に當り、國防國家體制の强

化を圖つてゐる實情がそれである

國軍は皇帝が直接に統べ給ふ國家の軍隊であつて平時は國内の治安維持や邊境及び江海の警備に當り、一朝有事に際しては皇軍と共同して國防の任に當る重責を擔つてゐる。との國軍の編成は中央直隷軍と十個の軍管區竝びに江上軍を以て組織され、その兵備は空に陸に水上に近代的な機械化裝備を誇つてゐる。曠漠の平原を戰場とする滿洲國軍はさきのノモンハン事件の例をとるまでもなく、優秀な機動力を發揮すべき機械化部隊の增强とその訓練に主力を注いでをり、建國以來九年の短日月にして驚くべき發達の跡をみせてゐる

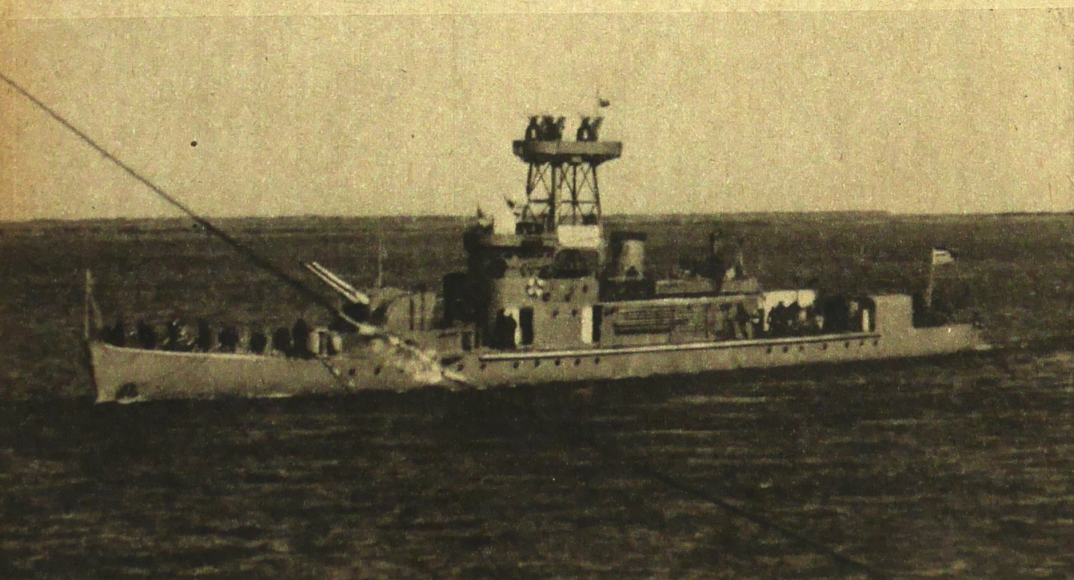
⇧快足の花形、裝甲自動車隊出動の勢揃ひ
撮影　梅崎善太郎

敵機は早や國軍の射擊圈内に入る。一齊に火を吐く高射砲隊⇩
撮影　一二三清次郎

滿洲國
江上軍

滿洲國軍の江上部隊は黑龍、烏蘇里、松花の三河川とその沿岸の警備にあたつてゐる國軍異色の特殊部隊だが、國境を持つ河川の延長線が長いだけその任務はなか〳〵重大だ。冬季の氷結、雨季の濁流等、自然のあらゆる惡條件を克服して警戒警備の萬全を期すことは容易なことではない。軍規嚴しく、士氣益々旺盛な江上部隊は將來の滿洲國海軍第一線の戰士を自任して連日、猛訓練に餘念がない

右上 凍てついた土に步調をとる軍靴の音が高い

右 兵營を出て今日も實戰さながらの演習に出動する　撮影　大藏博之

左 渺々たる平原に何處まで續くか果しない川一筋…西陽に照り映える川面の反射がまばゆい　撮影　宮脇俊雄

下 出動準備なつた江上艦艇　撮影　滿洲國通信社

建國の若人

首都新京の最高地點、しかも滿洲國經緯原點の所在地になつてゐる歡喜街に六十餘萬坪の廣大な地域を劃して建國大學がある

建國大學は滿洲建國の理想を實現すべき滿洲國唯一の最高學府で、康德五年五月二日訪日宣詔記念日の佳日に畏くも勅書を賜つて開學した。その期するところは、建國精神の眞髓を體得し、學問の蘊奧を究め、身を以てこれを實踐し、道義世界建設の先覺的指導者たる人材を養成するにある。滿洲國を構成してゐる總べての民族の青少年の中から滿洲國育成の重責を双肩に擔ひ、滿洲建國の理想を身をもつて實踐してゆかうとする剛健高邁な若人を造りあげようといふのだ

滿洲國は東亞新秩序の黎明として生を享けた。そして今日滿支一體となつて全東亞の推進力となるべき滿洲國の發展は名實共に世界的意義を持つものといへる。年々歲々伸びゆく滿洲、育ちゆく興亞の若人、そして建國大學の存在とそ、新興滿洲の表徵ともいへよう

撮影　マンチューコウフォトサーヴィス社

⇦ 五族の青年は肩を並べて仲よく學科の机に向ふ

⇦ 寒風吹き荒ぶ校庭で軍事教練……

⇦ 晝食が終つて、樂しい休憩室の雜談

⇨ 開學に當り皇帝陛下より賜つた勅書を朝に夕に奉讀し、研鑽の誠を誓ふ

⇦ 逞ましい柔道の猛稽古

⇦ 結氷期を控へて校庭にアイス・スケート場を造る學生の作業

滿洲協和の今日このごろ

⇧ **新京にも子供隣組**

內地の子供隣組をみならつて國都新京にもこんど學校隣組が誕生しました。これは市內八島小學校第五學年の學童四十五名が數名宛各家族に分れ、各家には家長をおき、可愛い『坊や家長』の命令のもとに勉强からお掃除に至るまでみんなで仲良くやつてゐます

⇧ **滿洲でも福は內鬼は外**

興亞の春を壽ぎ大陸建設戰士の無病息災を祈る節分祭の二月三日、全滿各地の神社、寺院では一齊に追灘式が行はれた——福の神や鬼の面をつけて『福は內、鬼は外』とかけ聲も勇ましく追灘の豆撒きをする東本願寺幼稚園の園兒たち

⇧ **めでたい萬壽節の日**　皇帝陛下には二月六日畏くも御三十六歳の御誕辰を迎へさせられたが　この萬壽節には四千萬國民はあげて帝壽の無窮を壽ぎ奉り　全滿ににぎやかな式典が行はれた——滿鐵厚生會館で催された　慶祝兒童大會で白系ロシア兒童の慶祝舞踊

全滿に初の壯丁檢査 ⇩

『われ等は國兵』の心構へも賴母しく二月一日から全滿に施行された初の壯丁檢査は適齡壯丁の國兵法に對する認識の深さを示して連日美しい軍國風景を描き徵兵官を感激させた——四日檢査場に臨席した滿侍從武官と于治安部大臣

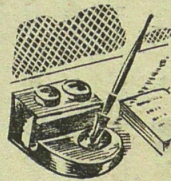
遺家族に感謝の會 ⇩

戰歿勇士の遺族や應召家族、傷痍軍人に捧げる日頃の感謝と報恩の贈物、國婦首都本部の遺家族慰安會は一月二十五日國防會館兵士ホームで開催され、會員手製の御馳走に舌鼓を打ちながら會員、遺族たち御自慢の演藝等で賑つた

撮影　滿洲國通信社

戰時下のお臺所を賄ふ
百二十八億豫算

去る二月十五日の貴族院で昭和十六年度の豫算、つまりこの四月から來年三月までの一年間のわが國の豫算が滿場一致で、一人の反對もなしに決められました。この豫算案は既に去る二月二日衆議院でも可決されてをりますので、わが國の戰時のお臺所を賄つてゆく計畫が本極りとなつたわけなのです。では來年度の豫算はどの位の金額になるでせうか

豫算といふものには一般會計と特別會計といふ二つの本豫算と、これに後からつけ加へる追加豫算といふものがあるのですが、明年度の豫算の根本をなすものといへば、一般會計の本豫算と臨時軍事費それに一般會計の追加豫算の三つになるのです。そこで普通總豫算といはれる一般會計の本豫算はどの位かといひますと六十八億六千三百萬圓餘りとなり、十五年度の豫算に較べると七億六千萬圓も殖えてをります

なぜこのやうに殖えたかといひますと只今の世界の有樣を見れば判るやうに、わが國もいつどんなことにならないとも限りません。その上支那事變も旨く解決してゆかなければなりません。それには必要の少ないものや急がない事業などはできるだけ節約する一方、是非とも必要な事業は一日も早く完成して、國を護る力を養つて置かなければなりません。そのためには先づ軍備の充實が必要です。軍人に銃後の心配をかけないやうにしてゆくことも大事です。石炭や機械、武器などの必要な物の生産力を增すことも重要なことですし、經濟統制に關しても經費が必要となるでせう。更に民間の航空とか貿易、海運、科學などを盛んにすることも長期戰をやつてゆく上には是非必要なことなのです。このため明年度の總豫算はできるだけ節約を圖つてもなほ十五年度より七億六千萬圓餘りも殖えて六十八億六千三百萬圓といふ大きな數字になつたのです

次ぎに臨時軍事費です。これは特別會計といはれるものですが、特別會計といふものは只今では四十九もありして、まそれ〴〵の收入と支出の計畫を持つてをりますので、總豫算とは切り離して別に考へるのが普通なのです。しかしこの臨時軍事費といふのは、とりわけ特別な豫算で、ほかの豫算は一年間を區切つて毎年計畫を樹てゝゆくのですが、この臨時軍事費は一年毎に區切らないで、支那事變の終るまでを一と纏めとしてゐるのです

それでは今年はどれ程の軍事費が要るのかといひますと、この四月から來年の一月迄に四十八億八千萬圓となつてゐるのです。そして事變が始つてからの臨時軍事費の總額はどの位になつてゐるかといひますと、この四十八億八千萬圓のほかに今年の二月と三月分の臨時軍事費が、議會で可決されてをりますので、これを今までの金額に加へますと、二百二十三億圓以上になります。これ程大きな金額を賄つてきたわが國の力は今更ながら驚くほかはありませんが、諸外國のうちにはわが國の力を見縊つてゐるものがないとはいへませんので、さういふ國々もこの點を見ても考へなほす必要があらうと思ひます

以上のやうに總豫算の六十八億六千三百萬圓と、臨時軍事費の追加分四十八億八千萬圓とが議會で可決されたのですが、この二つを合計しますと百十七億四千三百萬圓餘りとなり、これが只今百十七億豫算といはれてゐるのです。しかし忘れてならないことは、このほかに一般會計の追加豫算が十一億三千萬圓もあるといふことです。この追加豫算は只今衆議院で調べてをりますが、貴族院も衆議院もこれでよいといふことになりますと、百十七億にこの十一億が加はりますから、十六年度の豫算は百二十八億七千五百萬圓にもならうといふのです

一と口に百二十八億といひましても、これを十圓札で數へますと、一分間に二百枚の割合で數へても、十人の人が飲まず食はず、不眠不休で數へて一年掛つても數へ切れない程の金額なのです。このやうに大きな金額を調へますには、まづ私たちの税金が考へられますが、この税金だけではとても賄ひ切れないことは當り前です。それで税金を增していつたらどうかといふことが議會でも考へられたのですが、今年は增税は行はないことになつたのです。では税金やそのほかの收入で足りない分は結局公債を賣りだして、お金を調達しようといふのです

ですからこの公債が賣れないとなるとわが國の豫算に狂ひを生じて、現在の厄介な世界情勢を乘り切つてゆけないことになるのです。幸ひ公債の賣れ行きは割合に順調で、昭和十四年度は賣出した公債の八割九分も賣れましたし、十五年度もこの一月十日現在で八割三分三厘にもなりましたので、昨年度位の成績をあげるのもあと一とふん張りです。それには私たちの貯蓄が一番大切であることは申すまでもありません

それで明年度つまり來年の三月までに賣出される筈の公債は、全部で七十五億圓餘りですから、この公債を消化するにはそれだけ私達の貯蓄を殖やさなければなりません。十六年度の私達國民の貯蓄目標は百三十五億圓ときめられたことは皆樣も御承知の通りです

開拓の努力に實る滿洲の民族協和

最近、時局の進展に伴つて中小商工業者の轉業問題が喧しく論ぜられるやうになりました。國家のために轉業を餘儀なくされる人達がどういふ方向に向つて頂いたらよいか。日本が事變を遂行して行くために必要な軍需工業に轉じて頂くと同時に農村に歸つて、國民食糧の增產に當つて頂くこともこの際重要なことです

轉業開拓の天地、滿洲

ところで一口に歸農といつてもどこに歸農するのか。成程農村は現在相當勢力が不足してゐますが、轉業する人達がいきなり農村に歸つてもそこにすぐさまその人達の一家が喰べて行かれる程の土地が空いてゐる譯ではありません。自分で農業經營がすぐできない許りか、小作をさせて貰はふにもなか〳〵おいそれと行かないでせう。では轉業者の歸農はどうしたらよいのか

結局、歸農といふことを內地許りの問題と考へては問題はいつまでも解決致しません。農業が土地を必要とする以上この歸農の問題許りでなく、農產物の增產にしても結局內地だけでは根本の問題は解決されません。どうしても新らしい土地が必要です。しかも相當廣い、新らしい土地が必要であります

日滿兩國の國策として二十ヶ年百萬戸五百萬人入植の計畫の下に着々進められてゐる滿洲開拓といふ大事業こそ、この問題に解決を與へるものであります。轉業者の歸農の問題、即ち轉業する人達に農產物の增產に當つて頂くためにはこの滿洲の開拓といふ事業に參加して頂くのが最も早く、また賢明な方法であるといふことがいへると思ひます。これが轉業開拓といはれ、既に轉業開拓團が全國にでき上りつゝあります。これならば內地と異つて向ふに行つても相當の大きさの規模で農業經營ができるのですから、家族のある人も心配ないばかりでなく、これがすぐに農業增產といふ形で國家のお役に立ち、同時に國防の役目をも果す譯ですから轉業の方法としては頗る意義あるものといふべきことでせう

滿洲の開拓といふことを轉業問題といふ點から語り始めましたが、これは轉業に限らず農業增產といふ意味で、また北滿に人口を植ゑるといふ國防上の要求からいつても恐らく全國民が關心を持たなければならぬ重要なことであると思ひます。そこで簡單に北滿に入植した開拓民の人達がどういふ生活をしてゐるか、最近の狀態を御紹介致しませう

移民百萬戸計畫進む

轉業開拓の問題は昨今漸く喧しくなつたのですが、滿洲の開拓は昭和七年に第一回目の武裝移民を送つてから早くも九年、明年は滿洲開拓十週年を迎へようとしてゐます。昭和十二年に日滿兩國の國策として、所謂百萬戸計畫が開始され、本年を以てその第一期計畫を終ります。又十三年から滿蒙開拓青少年義勇軍の制度が創設され毎年三萬人宛の青少年を送るやうになり、本年內には開拓民、義勇軍を合せて尠くとも十萬人以上の開拓者を送ることになるといふ次第で、色々な困難な事情にも拘らず、滿洲開拓の事業は着々と進められてゐる譯です

開拓青年に情操教育（ラッパ鼓隊指導者講習會）

當初、滿洲開拓の父といはれる故東宮大佐や母といはれる加藤完治氏等が主唱されてゐた頃、一般の考へ方となつてゐた滿洲移民悲觀論、即ち匪賊のことや滿洲の寒さ、或ひは滿人との競爭に堪へ得ないだらうといふ時代遅れな心配はいつの間にかなくなりました

滿洲に匪賊がもう全然ゐないといふ譯ではありません。開拓團で被害が全然ないことはないのですが殆んど問題にならぬ程度であることはもう誰も承知してゐることです。その證據にはどの開拓團でも女や子供や老人達が日本內地にゐるのとちつとも變らぬ生活を樂しんでゐる位ですが、ごく最初の頃の武裝移民時代の人を除いては誰も匪賊の恐ろしさを知らないやうな有樣ですから實際これは問題になりません

寒さの點も滿洲殊に北滿地方は零下三〇度から四〇度位迄下るのですが耐寒建築の研究と寒地の生活に慣れることに依つて日本人でも大分堪へることができるばかりでなく、寒い季節にも大いに活動出來ることが立派に證明されました。昨年から開拓科學研究所といふのが新京に設けられ、かういふ方面の研究を進めてゐますから、衞生方面なども益々改善されてゆくわけです。開拓團のなかには六十を越したお爺さん、お婆さんが隨分澤山行つてゐますが、何れも元氣で暮してゐるのですから零下三〇度の呼び聲にさう驚く必要もないことゝ思ひます

滿人を驚かした新農法

もう一つ、向ふで滿人との競爭に堪へ得るか、といふ心配があつたのですが、つまり日本人の農業經營が果してうまく行くかどうか、一戸當り十町歩の耕作で經濟が成り立つて行くかどうか、といふ問題なのですが、實はこれはつひ最近まで開拓政策の一番大きな問題でもあり、悩みでもあつたのです。十町歩あれば十分樂な暮しができるだらう、とすぐさう考へられるのですがこの十町歩がなか〳〵思ふやうに耕すことはできません。農具、畜力、勞力等いろ〳〵な關係、でたとへ無肥料でよいとしても內地の農業と同じやうにゆかず、殊に勞力を甚だしく要する關係上、開拓地の十町歩經營は果して採算がとれるかどうか、隨分困難な問題であつたのですが、開拓科學研究所や現地の關係機關で研究の結果、北海道の畜力應用の一種の大農式農法を採り入れた新らしい滿洲の農法が發見され、こゝに滿洲開拓地の農業は非常に明るい希望が湧き出

てきたのです。専門的なことは省きますが要するに滿人がやつてゐる農具を捨てて、北海道式のプラオとかハローとかカルチベーターといふやうな大農具を使つて耕作すると、夫婦二人で樂に十町歩を耕し切ることができるといふのです。滿洲の農業については全く革命的なやり方でありました。本年あたりからこの滿洲農法が開拓地に段々行き亙つてゆくと思ひます

ですから從來でも滿人の農業の眞似をしてゐながら、滿人の知らない作物を作つたり、品種の改良をやつたりして、滿人に對して指導的立場に立ち所謂民族協和の實踐をやつてゐたのですが、この滿洲新農法の採用にいたつて完全に滿人農民を驚かせてしまひました。日本人は偉い、滿人の農民は心からさう思つて日本の開拓民に教へを乞ふやうになつてきました。滿洲新農法をやつてゐる開拓團からの報告に實際にさういつてきてゐます。新農法の實施によつて何よりも力強く民族協和の實を擧げることができると思ひます。日本人は滿人に敗けるどころか、着々とその頭のよさを示し、滿洲國における諸民族を指導してゐるのです。わが開拓團はこの點偉大なる民族協和の實踐者であります

農業は何といつても大部分自然の條件に支配されます。隨つて滿人も日本人も全く同じ條件で農業に從事するのですから、日本人の素晴らしい成績が彼らを驚嘆させることも他のいかなる産業よりも甚だしい譯で、彼らをして心底から敬服させるわけであります。これは農耕だけの話ですがその他畜産において、農産加工において全く原始的なことしか知らぬ滿人達を指導することは甚だ多いのです。例へば養鷄なども同じレグホーンであり乍ら飼料の與へ方が全く違ひますから日本人の方が二倍から三倍の卵を生ませる。滿人が口惜しがつてとう〳〵餌の作り方を習ひにきたといふ話もあります

羊や豚の品種改良は勿論、養蜂を採り入れたりバタ、チーズの酪農、或ひはホームスパン、釀造等の農産加工を多角的に採用することによつて滿人農家の生活をどれ程文化的に向上させてゐるか判りません。このために滿人の生活程度が向上し、衣食住の凡てに亙つて文化的に、衛生的にそして教育の點によくなつてゆくばかりでなく（最初は日本人の生活程度が高いので滿人の低い生活程度に敗けるだらう、といはれたのですが）いろ〳〵な習慣、殊に日本人のよい生活態度。例へばまづ第一に敬神といふやうなことですが、開拓團に必ずある日本人の神社に滿人の參拜するものが非常に增えてきましたし、隨つて迷信的ないろ〳〵な行爲が尠くなつてきてゐます。殊に目覺ましいのは衛生方面ですが醫療といふやうな點で開拓團の醫者は絶對の尊敬を集め、この點日本人に對する敬意は先づ最も大なるものでせう。衛生方面の指導によつて彼らの不潔な習慣が改められ、迷信的療法が影をひそめ、その結果傳染病や風土病が少くなつてゆくといふことになります

☆ 希望に燃ゆる――

その後の大日向村

――開拓地報告書 ☆

滿洲の大日向村

滿洲開拓團の異彩として分村の魁けとなつた大日向村（第七次四家房開拓團）は小説に映畫に日滿兩國民に深い親しみと關心をあつめたが、吉林省下の寒村、四家房に康德五年（昭和十三年）二月初の聖鍬入れて早くも三周年を迎へた同村の發展ぶりは目覺ましいものがある

珍らしく老人の交つたこの村は乳幼兒の死亡は殆んどなく第二世は一二〇名、戸數一八六戸、人口七一〇名、一〇五名の小學生は毎日煉瓦造りの小學校に通ひ、耕地面積は三百町歩を超え、水稻、蔬菜等のみのりよく全村こぞつて前途の希望に燃えてゐる

昨年の暮、二道河子坑の發電所から四家房への送電工事が完成、この一月二十日全開拓團最初の配電が行はれて明るい電燈に團員一同をよろこばせた。また一部落に四箇のラヂオが同じく全開拓團のトップを切つて配付されたのでした。老人は育ちゆく孫を誇れば、妻は明るい電燈の下で裁縫や家計簿の記入に餘念なく、また夫は電波が傳へる新體制の聲をきいては今更の如く滿洲開拓の本義を深くするなど、閑暇の多い多の夜には誠に意義深くまたたのしい團欒が訪れるのである

× ×

かうして人の和、地の利、天の惠を受けて、たゆまざる忍耐と努力を惜しまなかつた建設への希望の實はつぎつぎと結び、時代から時代へ受け繼がれた八紘一宇の大理想を大陸に顯現する新らしい世紀の花がこゝ四家房に燦然と開かうとしてゐるのである

（陣容を整へた小學校）

天晴れ、大陸の花嫁さん

殊に面白いのは日本女性の彼らに對する影響力です。開拓團には御承知のやうに建設一年目位に所謂大陸の花嫁が盛んに渡滿して行きます。ところがこの花嫁群が到着早々にもんぺ姿も甲斐々々しく農耕もやれば炊事もやる、日本人にして見れば何でもないこと乍ら滿人が見るとこれが實に驚く可き事實なのです。元來滿人といふより漢民族ですが彼らの間では女は全く働かないといふのが常識なのです。昔から纏足といふやうな習慣もあつて女は勞働はできぬもの、むしろ男の玩弄物といふことになつてゐるものですから、日本人の女性がどし〳〵田畑に出て立ち働く姿にはほと〳〵驚かされたものらしく、そして又これが滿人の若い女性の覺醒に餘程役立つたものと見へ、最近は尠からず滿人の女の働く姿が見られるやうになつたのです。お百姓仕事許りでなくお裁縫やお料理、育兒等で開拓團の女性がどれ程指導的役割を演じてゐるか、はかり知れぬものがあります。開拓團の一家に滿人の若い女や半島人の若い女が澤山集まつて日本の大陸の花嫁からお裁縫をならつてゐる情景はしば〳〵見かけますが、これこそ民族協和そのものの姿でなくて何でせうか

大陸の花嫁といへば最近は開拓女塾といふやうな、現地の開拓團のなかに養成所がぽつ〳〵できてゐますが、こゝで颯爽と訓練を受けてゐる、わが大和撫子の甲斐々々しい姿を見た滿人高官がすつかり惚れ込み、自分の息子の嫁にと望んで來たことや、滿人地方官吏が三千圓の結納金を出すから是が非でも欲しいと、いつてきたといふ話など、わが大陸の花嫁達が色々な意味から滿洲で注目の的となつてゐることを物語つてゐます。一面、女性の力の大きいことを證明するものでありませう

日本人が滿人に敗けて內地に逃げ歸つて來るのではないか、と心配されたことも全く杞憂に過ぎなかつたことがこれで明らかにされた譯です。日本人開拓團の堅實なる農民達、青少年義勇軍の純眞なる若人達が現地にあつて着々現住諸民族を指導し、感化し、滿洲を眞に王道樂土たらしめ、ひいては東亞の共榮圈確立に寄與する等、その役割たるや他の何ものよりも偉大なるものがあることを泌々思はざるを得ません。いろ〳〵な苦勞があることは勿論ですが作物は豐かに稔り、生計の苦勞はなく、設備もまた充實しつゝあり、規模大なる文化生活を大陸に建設することを思へば大陸の開拓者こそ滿洲建國の功勞者であると同時に、最も大きな幸福を享受してゐるものといつてよいと思ひます

（滿洲移住協會）

常會の開き方

—常會の手引（下）—

常會の開き方やそれについて注意すべきことなどをお話し致しませう

出席者と司會者

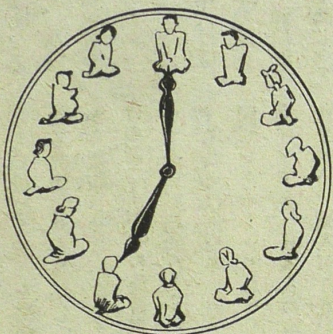
部落常會・町内常會の出席者は、部落會・町内會を形づくつてゐる全戸の世帯主を主として主婦及び家族がなるべく澤山參會することを建前といたします。部落や町内一家の家族會議が常會ですから、部落、町内の常會には

イ　全戸残らず出席すること

ロ　各戸なるべく多數出席することを原則としませう

部落・町内常會の司會者は部落會長・町内會長であります。部落會や町内會はその活動の内容に從つてふだんからその仕事を産業、經濟、教化、警防、保健衛生、社會事業などに分け、必要によつては部制を設けることになつてゐますが、常會の場合にも、各隣保班代表者や、それらの仕事の擔任者はそれぞれ必要な役割に當り、常會が圓滑に、しかも十分その目的を達するやうに協力しなければなりません。よくいはれる一人一役といふやうなことを活用してゆきたいものであります。

日時と回數

部落・町内常會を開く定日は、市町村で統制をとつて、豫め定めておかねばなりません。興亞奉公日などに開くといふのも一案ですが、差し當つてはそれぞれの地方の實情によつて、各町村で指導上の都合を考へ適當な日を定める方がよいのです。そしてその定日は町村常會定日との連絡を考へてきめることです

時間は嚴守、座席は圓るく

必要な時間は普通夜の二時間以内として、日没後一時間半位な時刻、つまり地方によつて多少ちがひますが、夏は午後八時、冬は午後七時位を開會時刻とし、開會、閉會共に時間を嚴守すること、この時間嚴守は部落常會の鐵則とせねばなりません

回數は毎月一回以上、豫め二回ときめてもよいし、二回以上は臨時招集といふことにしてもよいのです

會場と座席

會場は、常會を開くにふさはしい場所ならどこでもよいのです。部落内に學校や公會堂、社務所、お寺、教會など集會を開くにふさはしい所があれば一番よいのですが、適當な會場がなければ、部落、町内會長、隣保班長宅始め、できるだけ各戸輪番で會場にあてるやうにしませう

座席の作り方などは小さな問題のやうですが、案外注意を要する事柄です。理想としては、四角張つた會議式でなく、圓座式にしてどこまでも家族的な團欒の形にいたしませう。そして出席順に、先着の者から空のないやうに座ることも大事な常會の作法の一つです

進行の順序

常會の順序は通例次のやうに行ひます

一、儀　禮（遙拜、祈念、訓言及び市町村是齊唱等）

一、傳達、報告等

一、協議、懇談等

一、申合等

一、講　話（研究、體驗發表、娯樂等）

一、儀　禮

最初の儀禮の中に、遙拜を始め澤山並べましたが、これは例として掲げたので、これを全部行はなければならぬといふのではありません。しかし常會が皇國民の道を實踐する誓ひの道場であることを考へれば、開會の始めに嚴粛な態度と、引きしまつた心持で臨むのは當然のことであります

傳達といふのは、國策や府町村等官公署からの大事な事柄を傳へることで、これによつて上意下達をはかるのです。**報告**の方は主に部落會・町内會内部のことや各種團體（例へば國防婦人會、青年團等）の動靜や事業を報告するのです

協議の多くは主として司會者から問題を出し、それを中心に協議を進めますが、**懇談**の方は出席者の持出す問題を中心に話し合を致します。この協議、懇談が所謂下情上通の機會になるものですから司會者はこれが放慢に流れないやうに氣をつけ、またできるだけお互ひの懇談で解決を與へるやうに導かねばなりません

この協議、懇談は、傳達、報告と共に常會の一番大事な中味ですから大半の時間をこれに當てます。また協議、懇談の内容は、物心兩方のあらゆる問題を取上げ、どちらに偏してもいけませんが、重要な事項と急ぐ問題は先に決めねばなりません

申合せは、毎回必ずやらねばならないほどではないのですが、實際には何かしら申合せ取決めをする問題が起きてくると思ひます。この申合せは全員によく納得させ、常會自身の自律力で必ず全部が實行へと進まなければなりません

講話は精神を養ひ、時局を正しく知り、決意を新たにする糧となるものですから、たとへ最後の五分間でもよいからこれをつけ加へます。

この指導者には市町村當局、學校長、技術指導者等が當りますが、その他出席者から種々の研究や體驗を發表したり、輕い和樂を加へると、常會に和らぎと樂しみを與へ『常會は面白い集り』だと思はせるやうになり常會そのものを生活からきり離せないものにして『爲になり役に立つ大

切な集り』だと思はせる大事な要件となるのです

最後の儀禮は簡單でよいのですが會に締くゝりをつける意味でこれもなほざりにしない習慣をつけることが肝要です

× ×

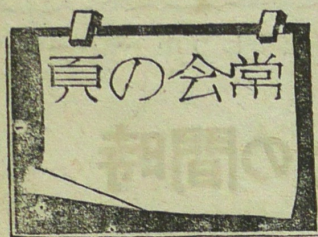
次に常會を開く折の心得をお話しませう

出席督勵

常會は人の集會ですから、所要の人が揃ふことが一番大切です。いくら理想的な常會を開かうとしても、人が集まらねばどうにもなりません、そこで極力出席を督勵する必要があります。しかし部落、町内會員としてはいつまでも督勵されてから出席するのは恥ぢだと考へるやうにならなければいけないのです。そこまで全員の歩調が揃ふには色々の工夫方法が必要です。例へば

イ、常會日毎に習慣性になるまでは豫め告知の方法を講ずる

ロ、出席の際、お互ひに誘ひ合ふ

ハ、出席優良の個人、班、部落會を表彰する

これは一番廣く行はれてゐる方法です。近ごろのやうにお米や、砂糖、マッチ等の日常生活必需品の配給券を常會で配るといふことでもあれば出席率はよくなるでせうが、たゞ生活上の便宜や、物の受給のためだけに利用される常會であつてはならないのですから、銘々の自覺によつて出席者の出足を揃へるやうに導かなければいけないのです

皆さん、常會が始まります

開閉時間の嚴守

常會と時間勵行といふことは切り離すことのできない問題です。『常會を始めてから村の凡ての會合の時間が正しく行はれ出した』といふ聲は方々で聞きますが、數十年來の悪い習慣が常會によつて改められたとすれば、それだけでも大きな收穫です。開會、閉會時間を嚴守するといふことはあまり窮屈すぎる、とても二時間では片付かぬといふ反對がありますが、長い經驗者はきちんと時間を嚴守してしかも立派に効果をあげてゐます

發言について

常會の際陷り易い過りは、とかく一二の幹部の獨演場となつて、大多數の出席者は終始默つてゐるといふ現象です。これでは家族會議ではありません。かやうな場面にならないやうに、できるだけ多數の人に發言させるやうに導きます。殊にかういふ席に出なれぬため、いひたくてもためらつてゐる人々や、婦人の發言は大いに歡迎して『**皆んな發言**』を目標とし、次の注意を怠らぬやうに致しませう

イ、發言は成るべく簡單にわかりやすく要點を述べること

ロ、演説式に形式張つたり、固くならずやさしく話すこと

ハ、反對や攻撃の言葉を避け、他の發言の長所を生かし、足らない點を補ひ、美點をとつて育てあげる氣持で和やかに柔かな話し合ひとすること

娯樂

常會の限られた少い時間に娯樂を加へるといふことは、多少論議の餘地がないでもありません。しかし和樂には長い時間を要しません。たつた三分間のレコード音樂を聞き、一分間の常會體操をしても目的を達することができます。それによつて感興を添へ、常會の集りを『**面白い會だ**』と感じさせ、情操に訴へて親睦和合の目的を達することができれば、短時間を娯樂のために割くことは決して無駄ではありません。もし話題が少くて時間に餘裕があるといふ時には、豫め計畫しておいて、紙芝居を實演したり、子供達の學藝會等を催すこともよい方法です。要するに常會に感興と情味を添へ、和らぎと潤ひを與へて、家族的親愛を深くして行きたいのです

常會日の活用

常會には、部落、町内會區域の全戸が集るのですから、この機會を活用して、或ひは貯金を持ち寄り、納税を集め、慰問文、慰問袋を集めたり、日用必需物資の配給券を配布したり致します。その他このやうな事にはできるだけ廣く活用致します。

立派な記錄を殘しませう

かうすることで、常會と日常生活は愈々密接に結びつき『**常會なくして生活なし**』といふ實感を與へることになるわけです。また區域内の各種の會合を合流させて、『**常會以外に集會なし**』といふ風にまで活用したいものです

記錄の整頓

常會の度に必ずその記錄を整へることが必要です。これは怠つてならない事務の一つですが、今日までのところ十分には行はれてをりません。それでこれからは是非、部落會長、町内會長、隣保班長等が必要な帳簿を作つておいて、自分の責任としてこれを整へることに致しませう

記錄事項としては、出席者の氏名、出席順位、遲參者、缺席者等も詳細に記錄し、日時、會場、開會から閉會までの模樣も日誌的に記すべきですが、中でも傳達、報告、協議、懇談、申合は内容を記し、講話はその要旨、體驗發表者とその要點なども記入しておく必要があります。これはその部落會、町内會の活動のためにはいふまでもなく、更に市町村常會への報告のためにも、各種團體のためにもなくてはならぬ重要な記錄であります

經費の問題

常會では經費を使はぬことを原則とします。やむを得ない場合でもその失費はできるだけ少額に止めるやうに留意せねばなりません

かうして家事の能率をあげませう

時間の上手な使ひ方

─── 下 ───

家庭生活の新體制・二月の巻

主婦の時間割

社會的にも忙しくなつてきた主婦として

早朝 きめた時間通りにきちんと起床して、手早く身支度を整へ、髮もさつぱりとときあげて、日々の仕事に希望をもつて、よい歩み出しをいたしませう

早朝は家中揃つて宮城を遙拜し、皇軍の武運長久を祈ります。心靜かな朝の一ときをもつことはまたどんなに大切なことでせう

午前の時間 家事を自分でする主婦として、朝洗濯があるとしても毎朝それらの仕事の片付く時を豫定し、朝の仕事の一段落ついた後は讀書の時をもちたいものです。とかく多忙な主婦は一日の仕事に追はれ勝ちで、自らの修養の時もなく一生暮してしまふやうでは、子女の教育も十分にすることはできません。三十分の讀書は特に讀むものを選び、一日の心の養ひとなるやうな時間としたいものです。十一時の買物の時間まで時間半の間は、前夜に豫定しておいた通りの仕事にすぐ取りかかり、ゴタ〳〵してゐるうちに時が經つてしまつて今日もまた何もできなかつた、と朝から不愉快な氣持になることのないやうにいたしませう

『主婦の時間表』

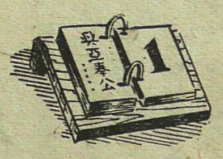
午後の時間 食事の後片付のあとの半時間位新聞を見る餘裕があるでせう。こゝでも區切をきめて一時に仕事にかゝるとしたら、夕方の仕事片付けの四時までには三時間といふ時間があります。子供が學校から歸つておやつを食べるにしても、後少しの時間に用意をしておけば、三時には仕事をしながら學校の樣子なども聞くことができます。四時には立つて仕事を片付け、洗濯の取入れや部屋の掃除等をして、四時半には夕食の支度にかゝるやうになりませう

夜の時間 六時には一家揃つて夕食を樂しく終り、七時過ぎには片付けも濟みませうから次に入浴し、小さい子供達を寢かせてからは、繕ひ物、編物位の仕事をし、九時半からは主婦日記、家計簿の記入にかゝり、明日の豫定を考へ、豫算と照らし合せて買物等を記入し、茶の間をも片付け戸締りを見る等して、十時には床に就くやうにしたいものです

このやうに、一日の時間をきまりよくはこぶ日ばかりあればよいのですが、病人ができたり不意のお客があつたりして、生きてゐる私共の家庭には思ひがけないことがあるものです。それだからといつて、毎日のきまりもつけないで暮すことは、いよいよ社會的にも忙がしくなつてきた主婦にとつて本當の生き方であるとはいへません。豫定を立てて暮してをれば不意の事が起つても、それをどう取扱つてゆくかの心構へが直ちにでき、餘裕をもつてその日その日を希望のうちに暮すことができませう。それには各自の家の事情をよく考へた上で、一日の時間割を作つてそれ〴〵の豫定を書き込み、見易い所へ貼つておけば便利です

さて、一日の暮し方を順序よく運ぶために大切な急所があります。それを私共は寢る前の家、起きたての家といつてゐます

寢る前の家と起きたての家

寢る前には、必ず家の部屋々々

緊つてゆかう

興亞奉公日

─ 三月一日・土曜日 ─

國際情勢は日に〳〵緊迫してきました。それのみならず太平洋の波も高くなつてきさうな情勢にまでなつて、この蒙古襲來、元寇國難にもまさる危機がわれ〳〵の周圍に迫つて參りまして、われら國民の血はたぎり、精神は弦のやうに張りつめてきました。この際、國家總力戰、國民總出陣の身ごしらへ、足ごしらへはできてゐませうか

われ〳〵は今、大東亞の共榮體制を整へ、その興隆を圖つたり、自ら進んで世界新秩序の建設に努力してゐます。この光輝ある世界の道義的な指導者たらんとしてゐるわれ〳〵は、高い理想と氣魄で元氣潑剌として、戰ひながら高度國防國家を建設する生活、即ち戰時國民生活を送らなければならないのです。このためには國民生活の中から萎縮した消極的な氣分を洗ひ落して、あくまで積極的な氣持を持つて國難を切り開いてゆかねばならないのです。

興亞奉公日はこの意味から國民生活の方向を明るくする『燈臺』として重要な意味を持つことになりました

☆　☆

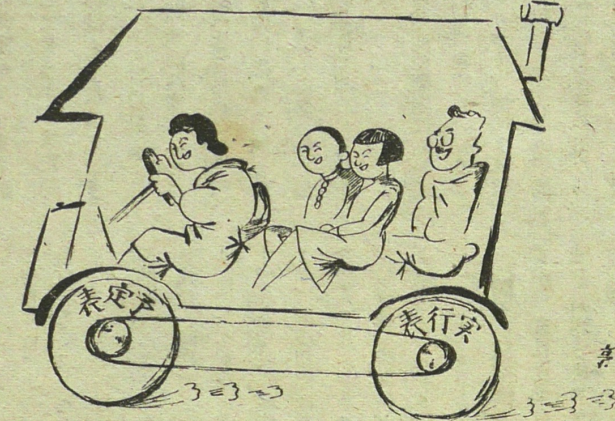
戰線に活躍中の皇軍將兵は銃を持ち劍をとつて敵の擊滅に非常な辛苦をなめてゐます。この皇軍將兵と足並をそろへて銃後國民が總力戰に參加してゐる姿といふのはどういふことをいふのでせうか。これはいふまでもなく國民一人々々の職域でそれ〴〵の私利私慾を捨てて、お國のために額に汗を流して働く、この尊い姿に外ならないのです。つまり『**勤勞**』こそ銃後國民の參戰の姿なのです

それではこの勤勞することによつて何が得られるのでせうか。それは『**增產**』であります。即ち生產の擴充であり、生產力の擴充になるわけで、この勤勞と增產とは切り離すことのできない裏と表の關係になります

戰爭といふ偉大な消費に備へ

が、座敷から勝手まで、朝の掃除の濟んだ後と同じやうにすべてのものが置くべき所に置かれてゐるといふこと、これが『寢る前の家』です。家人各々がその氣になるのは勿論のこと、主婦自ら見廻つて、必ずこのことを勵行します。さうしたら朝の仕事はどんなに早く順序よく運ぶことでせう。仕事にかゝるのに手間どるのは、何よりも能率を低くするもとになります

朝は揃つて早起きすること。

家庭としてまたそれほど願はしいことはありません。早く起きてゐるものがあつても、他に寢てゐる人があれば、その家は半分眠つてゐるも同じです。かういふ家はどうしても仕事に追はれ夜も従つておそくなります

どうかすべての家庭が潔よく朝の太陽と共に寢床を出るやうに。さうして各自が一日の仕事の支度をすつかりしてしまふやうに

主人や子供の出かけた後は、主婦も大切な勤につく時と考へてすぐ仕事にとりかゝり、午前中に一番主な仕事を片付けるやうにいたしませう。午前よりも午後、午後よりも夜と、仕事の負擔がだん／＼輕くなるのはよい生活で、朝から晩までだらだらに仕事のあるのは疲れるもとです

以上一年、一ヶ月、一週間、一日の時間と書いてきましたが、勿論豫定をたてたといふだけでは何にもなりません。家中が心を合せてこれを實行することに心がけることが何よりも肝要です。かうすれば、その家はいやでも明るい希望に溢れた家となり各人の能率もまた一段と高まつてまゐりませう。かうした堅實な家が集まつてよき隣組となり、よき町となり、さらによき國家となるのです

『能(家事)のとりやうで家庭は明るく』

健康と規律のために
生活表を

毎晩生活表を前にして、その日一日のことを思ひ出しませう。家族のものが皆健康に、各自の勉强や仕事をきちんとしたでせうか。主婦の朝の用事は早く片付いたでせうか。それらのことを書き入れてゆくのです。從つて、この表は主婦一人のものではなく家族全體の生活記録になるわけです

各家庭が樂しんでこの表を使つたなら、家族の健康增進と、一家の經濟及び規律の上に忽ち著るしい效果が現はれてくることは確實です

一、起床の欄には、主婦の起きた時間、就寢の欄には床に就いた時間を記します。これによつて、一家の主婦が豫定通り起床、就寢できたかを、毎日はつきりさせることができます

二、健康のところは、家人の健康狀態を、たとへば家族揃つて丈夫な時には○を書き、五人の家族のうち一人が工合が悪ければ4/5といふ風に記入します。不健康といつても寢る程のことではなく、子供なら學校に行つたとしても、今日は少し頭痛がしたとか、ものもらひができたとかいふ程度のものも不健康の中に數へるのです

三、『起きたての家』といふのは、朝はきまつた時間に起きて身支度を早くし、朝の掃除や毎日きめてある仕事を順序よく片付けることです。それがよくできたら○で三十分も四十分もおくれたり、きれいに片付かなかつたら×です。『寢る前の家』は夜の片付けです。起きたての家と同樣それができたら○でできなかつたら×とします

四、讀書の欄にはきめた讀書の時間が持てたか持てなかつたかを○と×で記入します

要目 ＼ 月日	1（火）	2（水）	3（木）	4（金）	5（土）
起床時間	5.30	5.40	5.30	6.00	5.50
就寢時間	10.30	10.20	10.30	10.10	10.00
健康	○	○	4/5	○	○
起きたての家	○	○	×	×	×
寢る前の家	○	×	○	○	○
讀書	○	○	○	○	○
記帳	○	○	×	○	○

五、記帳は家計簿、主婦日記その他きめてある日記でもあればそれをつけた日は○です

はじめには思ふやうにゆかなくても、家人の各々が忍耐して先週よりは今週、今週よりは來週と少しづゝでも進歩するやうに努めあへば、一と月になり二た月になり、半年、一年とつけるうち、この生活表が本當に大きな力を現はしてまゐります

て常に豐富に軍需品の補給をなし、蓄積をし、その上國民生活を安定して物と心が一體になつてわが國の陣地をがつちりと固め、どんな强國と何年戰つても勝利を博する國家總力戰のためには、勤勞と增產以外にはないのです

☆　☆

今までの興亞奉公日を見ますと、今日は奉公日だから何もせずに遊んでゐよう、今日は奉公日だからどこかへ遊びにゆかうなどと奉公日を厄介物にする人たちが少なからずあつたやうでした。これでは折角の奉公日も目茶苦茶になつて、總力戰の整備が片一方から崩れてゆく原因になるのです

ではこの意義ある奉公日はどうして送つたらよいでせうか。まづ第一に興亞奉公日の本當の意義を常會を通じて國民によく知らせなければなりません。また今までこの日には早天禮拜、ラヂオ體操、道路改修、空閑地共同耕作、廢品回收、國民貯蓄など勤勞や增產に關係のある仕事をしてゐた町會や部落會が多くあつたやうでしたが、かうした事業は大いに奬勵して全國的に行はれるやうにしたいものです

一方官公署は率先して範を垂るべきで、九時出勤を八時に、四時退場を五時にと、勤勞時間を延長して增產の趣旨にそふやうにするのもよいでせう

また最近酒屋、八百屋、魚屋乾物屋、勤勞者を相手の食堂等が休業札をだしてゐたやうでしたが、かうした日用必需品を取扱つてゐる店は休業せず、この日も開店をして、『勤勞と增產』の兵站部となつて活躍していたゞきたいものです

その外カフェー、バー、飲食店、待合などの業者は今までのやうに休業して、世間の非難を受けるやうな不健全な行動はつつしみ、これからは修養の一日、或ひは勞力奉仕の一日として眞面目な有意義な日にしませう

☆　☆

以上はほんの一例にすぎませんが、かういつた緊張した氣持で宮城遙拜、敬神崇祖、朝禮、皇軍慰問、竝びに感謝、勤勞奉仕、物資の活用など適當に行ひ、われわれは國家總力戰の一員として戰つてゐるのだ、これならば何年戰つても負けるものではない、といふことを忘れないで、これからの興亞奉公日を毎月有意義に送りませう

寫眞週報問答

〔問〕 最近、身體檢査に赤血球沈降速度の測定がありますがどういふことでせうか、また肺結核との關係はどうなのでせう

（札幌　鈴木）

〔答〕 赤血球沈降速度は一般に炎症性疾患、例へば肺結核、肋膜炎、肺炎その他化膿性疾患等の場合に促進するものですが、貧血症の場合、月經或ひは妊娠の場合にも促進するものです

現今ではこの速度の測定は結核性疾患の症狀の如何、豫後の判定等に應用せられてをります。例へば肺結核の早期診斷の場合しば〳〵理學的檢査では臨床的所見を認め得ないやうな場合にも赤血球沈降速度が促進してゐることから何らかの疾患のあることを疑ひ、更に『エックス』線檢査によつて早期に肺結核であることを診斷しうることがしば〳〵あるのです。また胸部の『エックス』線檢査により肺に結核性病變があることを認め得たる場合、この病變が活動性のものであるか、非活動性のものであるかといふやうなことを赤血球沈降速度の如何に依つて判定する一補助法とするのであります

現在一般に行はれてゐる赤血球沈降速度の測定方法は、種々ありますが、『ウエスタノグレン』氏法は、血液を凝固させないため、靜脈から採つた血液に四對一の割合に三・八％枸櫞酸『ソーダ』溶液を混合し、內徑二・五ミリ、長さ三〇〇ミリのガラス管に下から二〇〇ミリのところまで吸ひ上げこれを垂直に立て、攝氏十七度乃至二十度の氣溫の場所において、赤血球が沈んで行く速さを時間的經過によつて測定するのです。普通は一時間値または平均値が何ミリあつたかを測定するのが多いのです。赤血球沈降速度は、性、年齢によつて多少相違はありますが、健康な成人では『ウエスタノグレン』氏法で普通一時間値が男子一〇ミリ以下、女子一五ミリ以下であります

——文部省體力局學校衞生課——

〔問〕 航空機乘員志望の者ですが、官私立乘員養成所の所在地をお知らせ下さい

（熊本　播）

〔答〕 國內の乘員養成所は國策的見地から私立は全部廢止され航空局所管の左記六ケ所があるだけです。東京市麹町區大手町一丁目航空局技術部乘員課宛に志願者心得を請求すれば何時でも送ります

中央航空機乘員養成所（千葉縣東葛飾郡高木村）
仙台地方航空機乘員養成所（宮城縣名取郡六郷村）
米子地方航空機乘員養成所（鳥取縣米子市兩三柳）
熊本地方航空機乘員養成所（熊本縣菊池郡合志村）
新潟地方航空機乘員養成所（新潟縣北蒲原郡松ケ崎濱村）
印旛地方航空機乘員養成所（千葉縣印旛郡船穗村）

尙本年度の募集は締切りました

——航空局技術部乘員課——

海外小話

電話通信學校

アメリカのアイオワ州の或る學校では通學することのできない兒童のために學校の方が生徒の家へ出向かうといふ話。といふのは健康上通學の許されない虛弱兒童や怪我などのため動けない生徒のために案出されたもので、教室と兒童の勉强室との間に專用電話を引いて先生の講義はマイクロホンを通しベッドに寢ながらでも聞けるばかりか、先生がその生徒に指名して答をクラス中の生徒も聞くことができるといふ便利なもので、この電話を使用してゐる三人共優等生になり、內一人は級長になつたとパーカー先生は大よろこびでしたが、カンニングをどう防ぐかで問題になつてゐるさうです

アルベール新運河

リエージュとアントワープ港を結ぶ一五〇キロのアルベール運河は一九三〇年に起工されましたが、十年目にやつとでき上りました。この新らしい運河はベルギー本土を南北に橫斷し、ミューズ河流域の工業地帶とアントワープ港とを直接に結びつけ、二、〇〇〇噸の貨物船を通して重要な水上交通路の役割を果すことになつたのです

アメリカのナチ熱

サーッと右手を擧げるナチ式敬禮は誠に便利、簡單、その上いかにも莊重——といふので世界各國でだんだん流行してきましたが、こゝはアメリカ、マウント・ホリー市の小學校の兒童たちがニュース映畫でヒトラー總統にお目にかゝつてからといふものは、友だちにも先生にも右手を擧げる癖になつたので、頑固者の先生L・ソウルさんはどうしても腹の蟲が收まらず、市の教育局に對して强硬な抗議を申込み、當局を困らせてゐます

獨伊の新切手

一方ナチのお家元ドイツでは最近における樞軸外交の輝く勝利を記念する一つの方法としてヒトラー總統とムソリーニ首相の肖像を刷つた郵便切手をこの一月三十日から發行し、切手好きのドイツ國民に早くも好評を博してゐます。この二つの肖像はミュンヘンのリヒアルト・クライン教授の意匠になるもので一二ペニヒの切手ですが、實際は五〇ペニヒで賣りだし、その差額三八ペニヒを獨伊兩國の文化宣傳資金にされます。これに呼應してイタリアでも近く切手を發行する豫定になつてゐるさうです

文部省推薦映畫

文化映畫

村の學校圖書館　二卷

—推薦理由—

本映畫は文化に惠まれない農村の一教師が兒童と共に學校圖書館の設置をはかり、村人達の協力を得てその完成までの苦心を記錄風に描いたものである。課外指導に對する教師の熱意とこれに協力する兒童の建設的な努力とを示すと同時に兒童文化施設の必要性に對し多くの示唆を與へる作品である

—梗概—

村の小學校の子供達は書物に飢ゑてゐた。時折り教師が讀んでやる本や、偶〻手に入つた本を奪ひ合ふ樣でも十分にわかることだ。子供達のさういふ欲望を滿たすために、教師は自分の本や子供達の本を集め學級文庫を造つたが燒石に水であつた。矢張り常時的に書物を購入する手段が必要なのであらう。子供達の熱意もそこまで昂まつてゐた。教師の指導の下に、少年達は桑の皮むきをしたり、河鹿をとつたりした。草刈りや栗拾ひも續けた。その健氣な姿は人々の胸を强く打つた。村の人達や、卒業者から本が寄贈されるやうになつた。常會は寄附金を集めはじめた、子供達の知識はぐん〳〵と高まつてゆく、やがて學校に立派な圖書館のひらかれる日がきた、子供達はあふれる喜びに胸をどらせながら貪るやうに頁をめくるのであつた

（東寶映畫株式會社製作）

日	月	火	水	木	金	土
30	31					1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

三月

一日▽興亞奉公日
朝はいつもより早く起きて懸命に働きませう
▽滿洲國建國第九周年記念日

三日▽雛祭

六日▽地久節
皇后陛下には御三十八回目の御誕辰を迎へさせられる

十日▽第三十六回陸軍記念日

廿一日▽春季皇靈祭

廿八日▽全國から選ばれた約三千八百の遺兒靖國神社に參拜

春の惠みは惜しみなく——滿洲國の曠野にも春がきた。ぬく〳〵とした日ざしは野良にでた部落の子供にさん〳〵と降り注ぐ

撮影　佐藤甫

満洲の 土の富源

坑口からモリブデン鑛の搬出

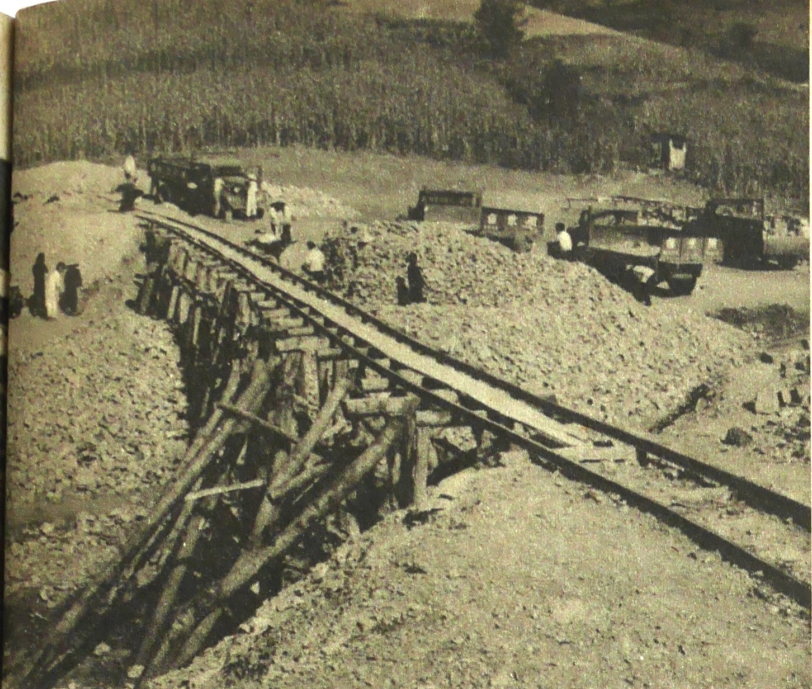
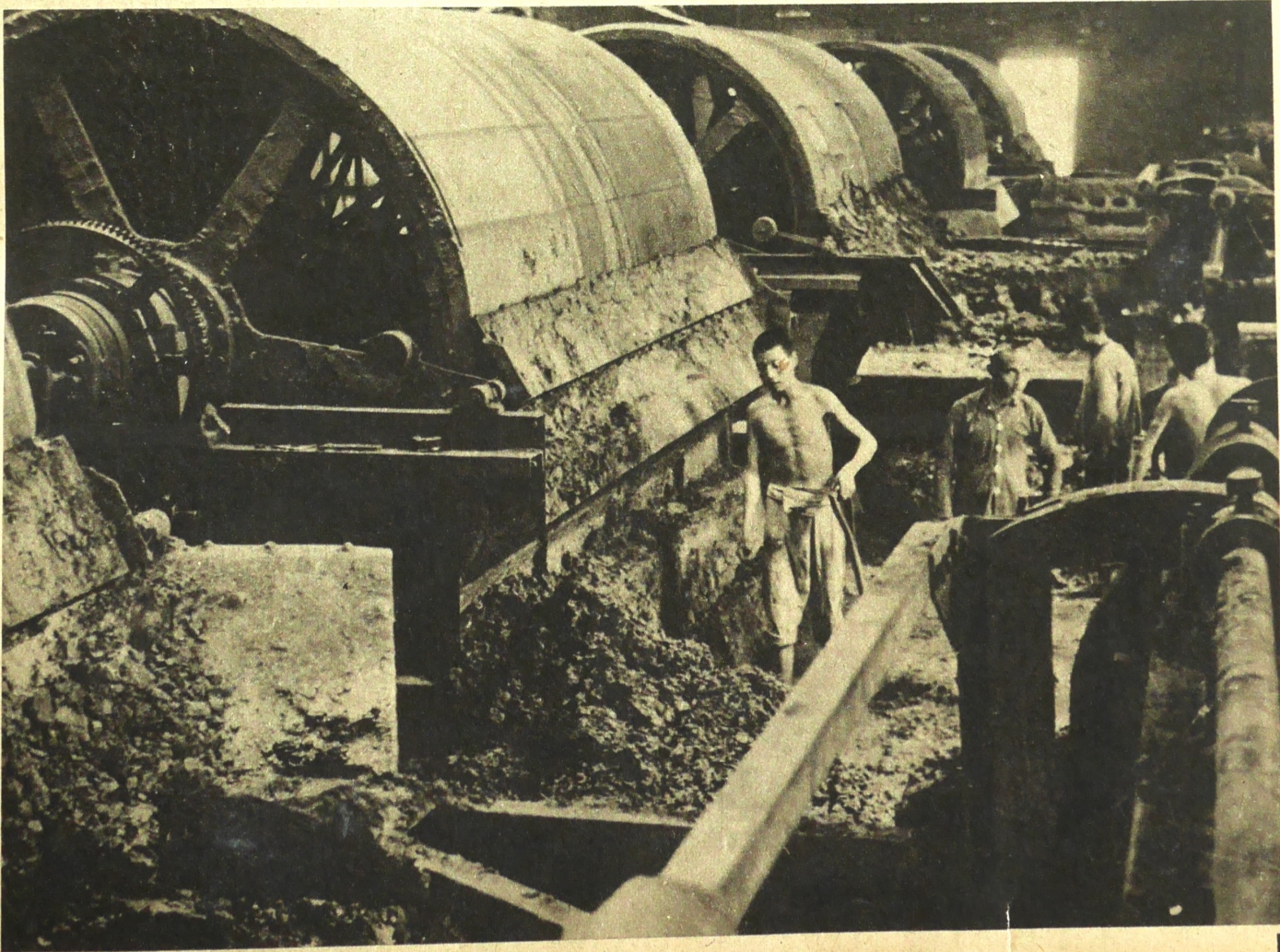
⇨ベルトで運ばれた鑛石を選り分ける満洲の少年工

日滿兩國の有無相通ずる自給自足政策は經濟、產業、文化等あらゆる部門に亘つて着々その成果をあげつつある

いま滿洲國から產出される鉛、亞鉛、モリブデンなどの非鐵金屬自給計畫の例をとつてみよう

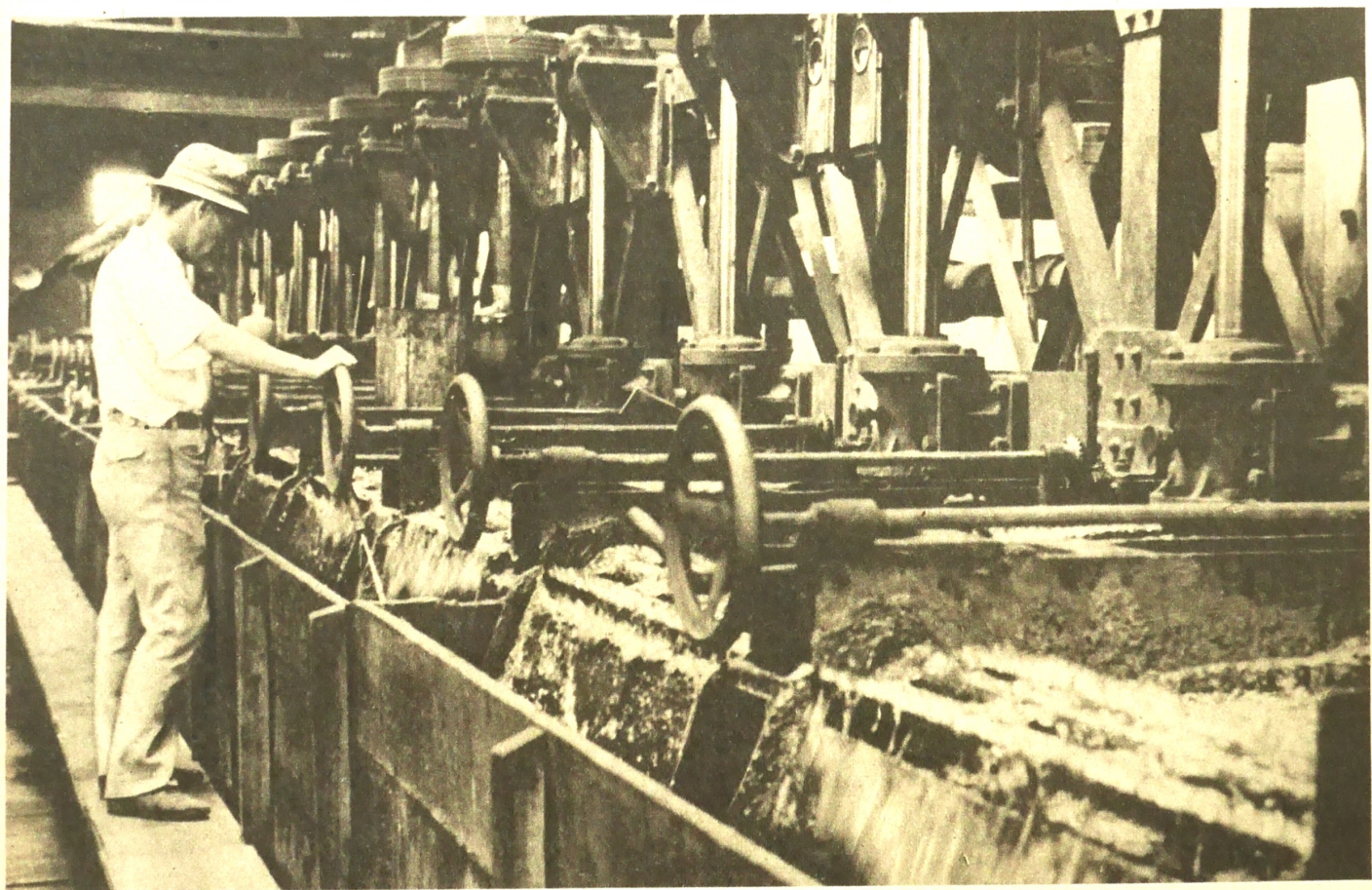
非鐵金屬として鉛や亞鉛、モリブデンは國防產業上缺くべからざるものである。さてこの重要な物資はわが國からどれ程產出されてゐるだらうか？遺憾ながら極く微々たるものでとても自國の需給を充たすことはできない。そこで今までは專らわが國はこの物資を東亞新秩序の建設に反對する國々から輸入してゐたのである。ところが御承知のやうにその第三國は最近わが國に對して全般的な經濟壓迫の策に出でその結果からした鉛、亞鉛などの非鐵金屬の輸入も甚だ困難となつた

このときに當つて友邦滿洲國が鉛、亞鉛、モリブデンの尨大な埋藏量を持ち早くも開發に拍車をかけてゐることは東亞ブロック國家の自給自足政策の遂行に力强い一步を進めるわけである

國內の有望な鑛山の一つでは昨年末に第一期增產計畫の選鑛工場が完成して、現在では鉛、亞鉛の生產額においては東洋一の鑛山となり、目下引續き第二期增產計畫が進められてゐる。そしてこの鑛山だけについてみても、所期の增產計畫が完成した曉には、凡そ鉛は日滿の平時の需要を充足することができ、また亞鉛も兩國全需要を充し得るといはれてゐる

⇨鑛石の浮いた泡は脫水機にかけられ、鑛石は乾燥して粉末となる

⇦浮游タンク、微粉を浮游タンク內に入れ水と藥品を入れてかきまぜる

⇗坑口からモリブデン鑛の搬出

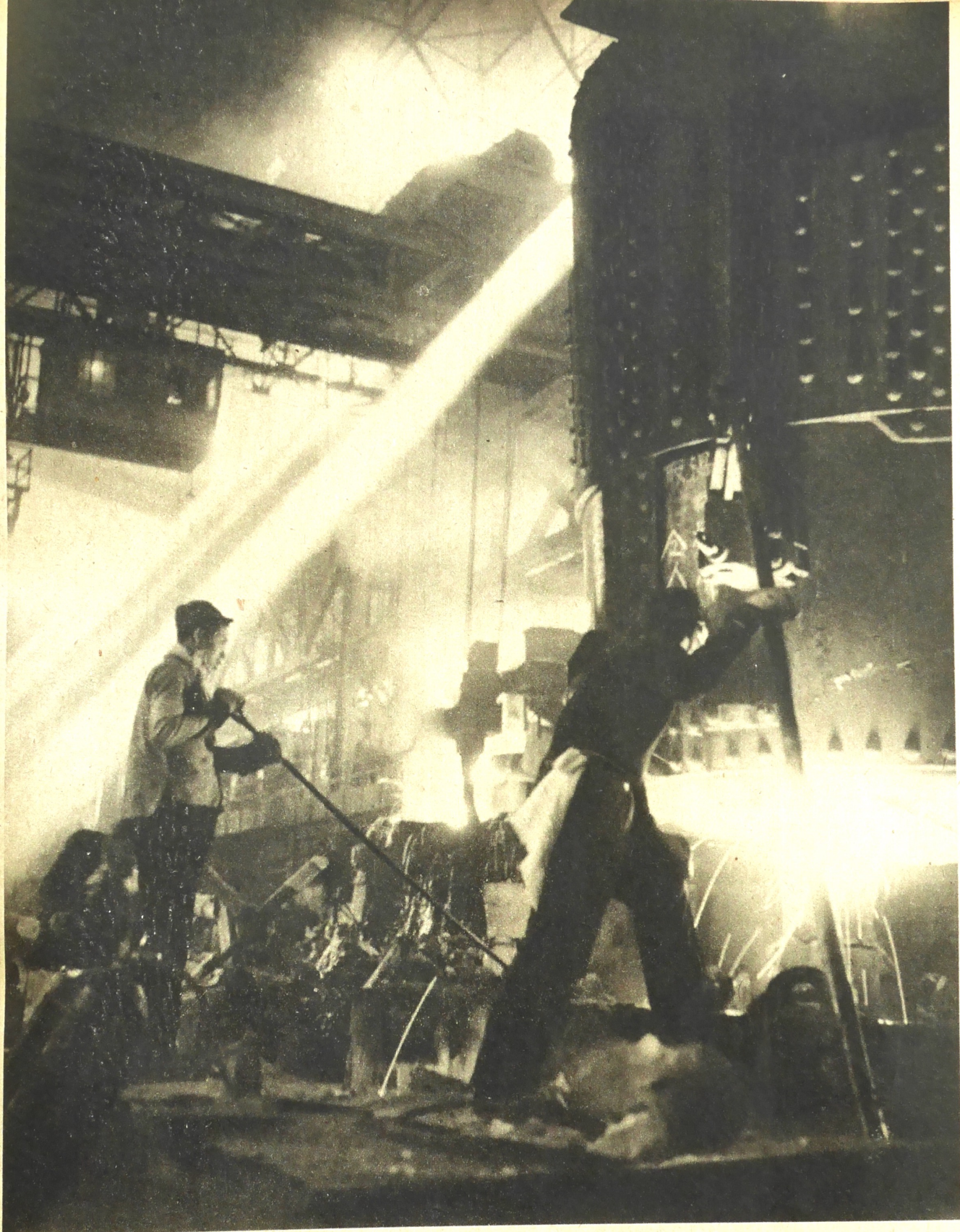
⇧選鑛工場の一部

⇦浮游選鑛工場——攪拌されたドロ〱の鑛石が更に機械でかきまはされる。そのうち鑛石は泡の表面に浮いてくる

撮影　滿洲重工業開發株式會社

⇦モリブデンの浮游狀態

⇦ 出銑した熔銑を砂型に流しこむと砂型銑が出來る

⇨ 熔けた鋼は次ぎ〳〵に鑄形にうつされて鋼塊がつくられる

鋼を生む

滿洲國鞍山

近代國家の發展の骨格としても、國防といふ大きな役割の上からも鐵の重要性はいまさらいふまでもない。滿洲事變以來、東亞共榮圏の確立を目ざして一路躍進の途上にある日本を警戒するアメリカが日本向屑鐵禁輸を斷行した理由もその邊にあるのだ。しかし日滿華共存共榮のブロックとして莫大な鐵鑛の埋藏量を持つ友邦滿洲國は將來日本國內の鐵鑛消費の不足を充分に補なつてあまりあるといふのだから心强い限だ。そのなかでも滿洲國鞍山の昭和製鋼所は採礦、製銑、製鋼の各作業を大規模に施行する所謂銑鋼一貫作業を行ひ最も近代的な設備を誇る製鋼所で銑鐵の產出高も逐年、驚異的數字で上昇してゐるといはれてゐる

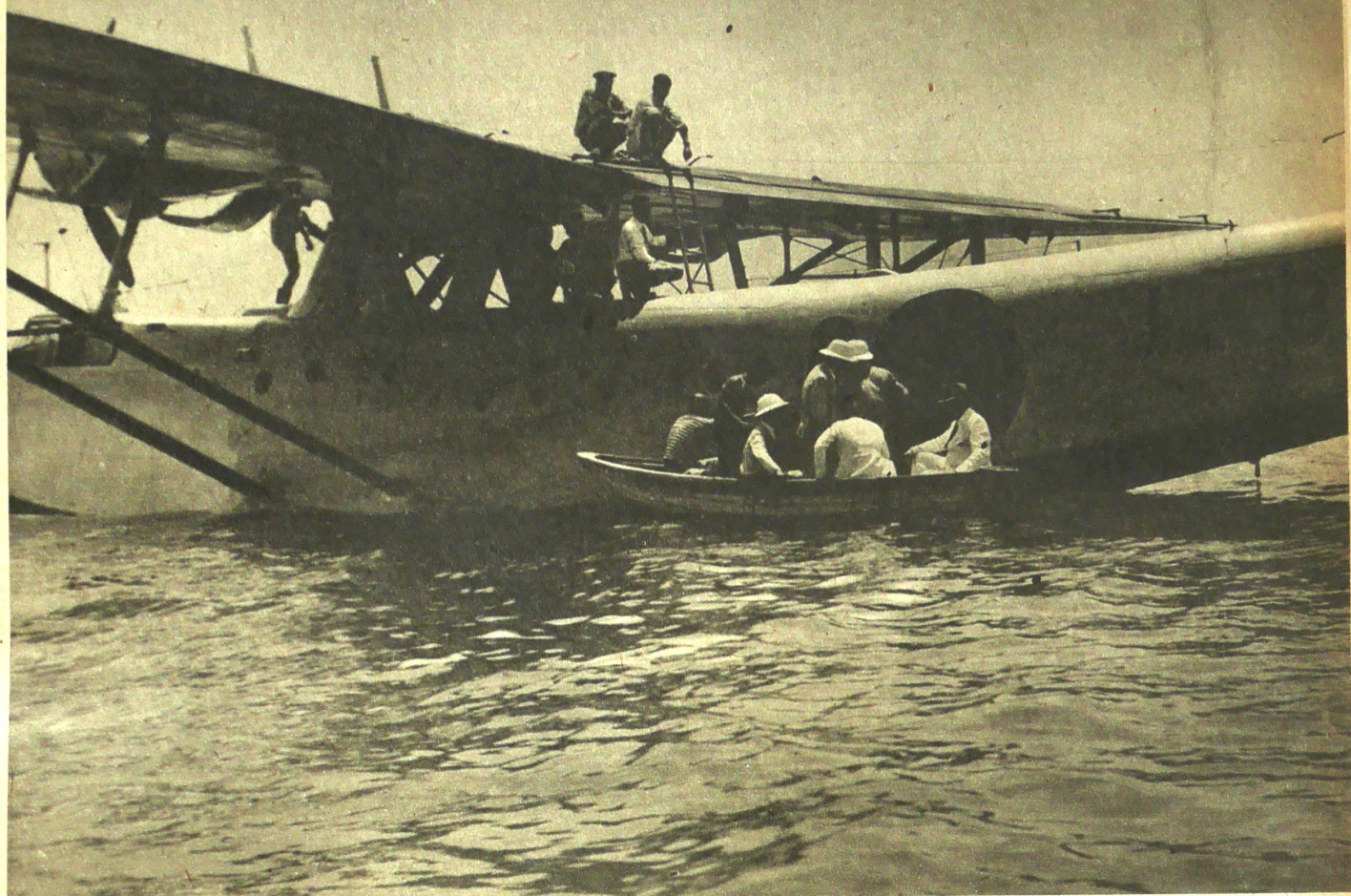
撮影　內田稻夫

⇨ 熔鑛爐にスキツプカーで鑛石コークス、石灰等を運搬する

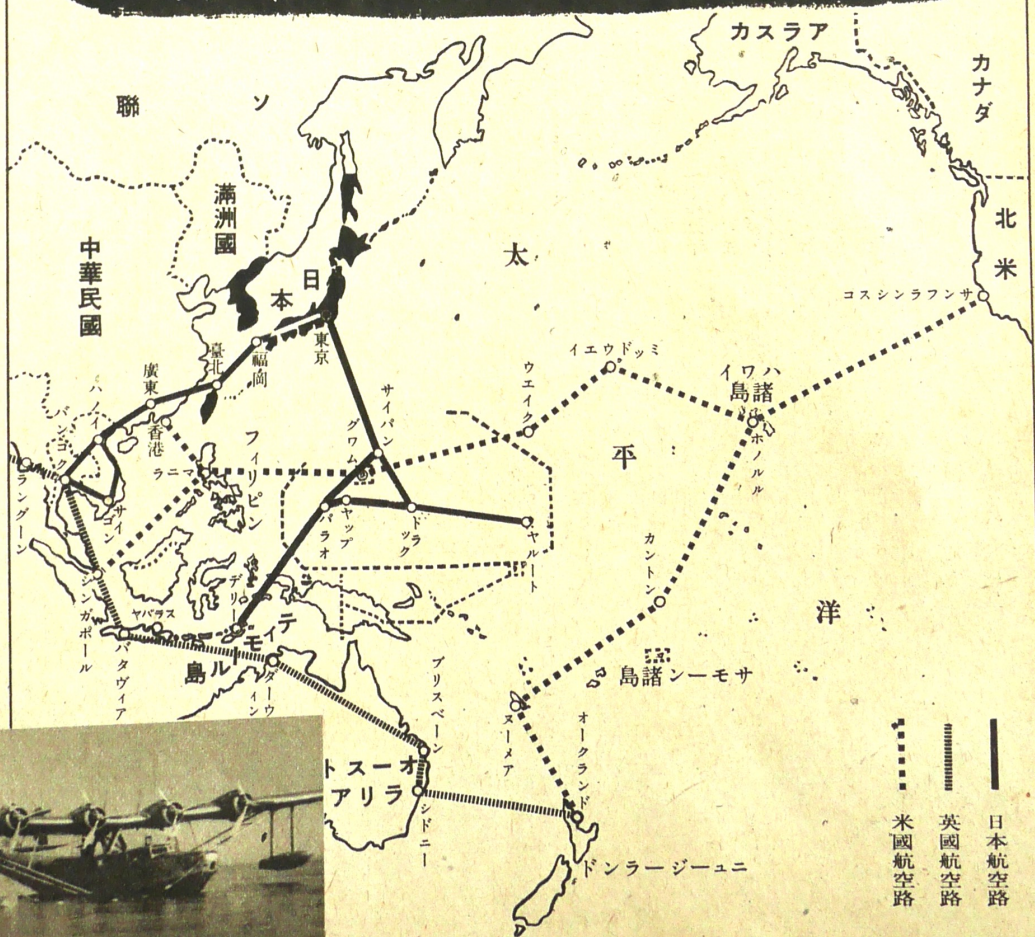
⇨ 官民有力者は招待されて日本の翼を見學する

⇩ デリー市上空を飛ぶ綾波號

ポルトガル領ティモール島は南緯十度を中心として東西に一聯の連鎖をするスンダ列島（スマトラ、ジァヴァ等の諸島）の東端にポツンと終止符を打つ四國位ひの小島で十六世紀以來東方經營の根據地とした印度のゴア、支那の澳門と並んでポルトガルの東洋の足場の一つになつてゐる

その昔、南蠻渡來の文化と兵術を種子島にもたらしてわが國の科學者を瞠若た

南十字星を截る

大日本定期航空路パラオ⇦デリー

日本航空路
英國航空路
米國航空路

昨年十月第一回の試驗飛行にパラオ—デリー間二千餘キロを翔破、熱帶樹の蔭を映すデリー海岸に着水した川西式四發飛行艇綾波號 ⇩

⇦ 空から見たデリー市

らしめたポルトガルの植民地へ、二十世紀の日本は優秀な純國産の商業航空機川西式四發大飛行艇を飛ばすこと兩三度、赤道を越えて遠く南半球へ圖南の翼を馳せたのであつた

本土を距たること六千數百キロ、桑港から香港に至るアメリカの太平洋航空路（一萬四千キロ）を縱斷して南海の友に友交親善の手をさしのべた試驗飛行の成功は東亞共榮圈に平和の翼を伸ばす航空日本の偉力を遺憾なく發揮したものといひえよう

しかもティモール島は蘭印の要港スラバヤから千二百キロ、濠洲の要港ダーウィンから八百五十キロ、シンガポールから約二千キロの位置にあることは戰略的にも重要基地たる理由を充分に持つてゐる。アメリカが昨年來桑港オークランド間（一萬二千キロ）の南太平洋横斷定期航空路を開設して桑港―香港線とともに南方包圍の態勢をとゝのへればイギリスはダーウィン―デリー―バタヴィアを結ぶ二千六百キロの試驗飛行を實施して既設のシドニー―バタヴィア―シンガポール―バンコク線の强化をはかつてゐる汎米航空のマニラ―シンガポール延長線が實行されゝばとゝに南洋圈包圍の輪ができあがる。東京―バンコク、横濱―サイパン―パラオの二大航空路を根幹として太平洋航空爭覇に登場した日本は既にサイパン―パラオ―ヤルートを結ぶ五千三百キロの定期航空を增設したが、いまやさらにティモール島のデリーへ銀翼を伸ばしたのである。かくてスコールを衝く日英米の商業航空戰は南半球の空を壓していよ／＼はな／＼しさを加へて來たわけである

撮影　岩男省三

轟々たる爆音、熱帶の海に白波を蹴る綾波號に目をみはるオセニア土人 ⇩

読者のカメラ 作品集

⇧新生の喜びを傷痍の身に

東京市　芝野　繁子

愛國婦人會の斡旋でよき配偶者を得て雄々しく新生活に入つた傷痍軍人の十五組は、紀元節の佳き日東京九段の同會本部に懇親會を開き、共にかち得た勝利の報告をもたらし合つて樂しい一日を過した

⇧お芝居もわしらの仲間で

桐生市　橋本　脩三

職場での勤勞と宿舍での休養とが平衡して進んでゆくとき、そこに最高の能率が生れる。明日への活動に備へる慰安休養はすでに生活の一部である――桐生市帝國絹布會社工場員の演藝會

盟邦の婦人も出席して⇩

東京市　太田　尚三

常會には一軒も殘らず出なければならない。言葉もちがへばいろ〳〵と不便もあらうけれど、よりよき日本の建設のためにはと町内に住む盟邦伊太利の婦人も出席して――東京市淀橋區大久保百人町の隣組主婦常會

壯途につく百貨部隊⇩

長野縣　小林喜太郎

洋服屋さんあり、自轉車屋さんあり、時計屋さんあり、等々各種の職業についてゐた長野縣南佐久郡中込町附近の轉失業者四十名は、將來滿洲の地に商都佐久鄕建設の輝かしい希望を胸に、滿洲開拓の同郡先遣部隊として二月二日壯途についた

復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか？

1 わが國の昭和十六年度豫算は大體どの位ですか、――八十六億圓？　百四億圓？　百二十八億圓？　百五十二億圓？……（9頁）

2 萬壽節とは――滿洲國で行はれる雛祭の日？　滿洲國皇帝陛下の御誕辰日？　滿洲國の節分？……（8頁）

3 一日の暮し方を順序よく運ぶための急所として『寢る前の家』『起きたての家』とよくいはれますが、これはどんなことでせう？……（15頁）

4 滿洲國が誕生して今年は何年になりますか――五年？　七年？　九年？　十年？　十三年？……（1頁）

5 三月十日は――滿洲國建國記念日？　春季皇靈祭？　陸軍記念日？　海南島敵前上陸敢行の日？……（17頁）

6 國防產業上に大切な非鐵金屬のうち滿洲國から產出される主なもの三つを擧げて下さい……（18頁）

7 興亞奉公日に實行しなければならないことは？……（17頁）

8 ティモール島が最近話題に上つたのは何のためですか――英國の重要な軍事基地であつたのをアメリカが租借した？　わが民間航空がこゝまで試驗飛行を行つた？　蘭印が莫大な費用を投じて空軍基地を構築してゐる？　火山の大爆發があつて全島住民が全滅した？……（22頁）

9 建國大學といふのはどこの國の最高學府ですか――滿洲國？　中華民國？　蒙古？……（6頁）

10 赤血球沈降速度の測定は何のために行ふのですか――血壓を精密に測るため？　花柳病にかゝつてゐるかどうかを檢査するため？　肺結核や肋膜炎などに侵されてゐる疑ひがあるかどうかをしらべるため？……（16頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか

表紙

若き滿洲國、潑剌と伸びゆく滿洲國は新らしい建設的な意識にめざめた若人を切實に求めてゐる

協和會旗を高々と捧げ、五族少年を打つて一丸とした協和會少年團はこの響きに應じて颯爽と身心の訓練に勵み、將來の國家を双肩に擔ふ意氣に燃えてゐる

撮影　佐藤　甫

寫眞週報（禁轉載）

昭和十六年二月二十六日印刷發行

編輯者　情報局　東京市麴町區丸ノ内三ノ一二

印刷者 發行者　内閣印刷局　東京市麴町區大手町

定價　一部　十錢

▲豫約配送御希望の方は一部十錢（外國郵便に依る地域は十九錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所

内閣印刷局發行課　電話丸ノ内(23)三五一一～九　振替東京一九〇〇〇

全國各地官報販賣所
東都書籍株式會社
各書店・驛賣店
各新聞販賣店
寫眞材料店

本誌を戰地にお送りになる場合には送料は内地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢、二部一錢五厘、三部二錢です

新體制下の心構へ

どんな強敵といつまで戰つても、斷じて敗けぬ身構へ――高度國防國家を建設する心構へは何か。「滅私奉公」の精神で日常を生活することだ。私利私慾を捨てよ、一切は「お國のためだ」「戰ひに勝つためだ」――之で行かう。質素な生活、張り切る元氣――うんと働き、うんと生産しよう。眞劍な心で、頭と體を働かせ、無い袖もふり、無から有をも生ませて、最後の勝利へと戰ひつゞけよう。これが、新體制下國民生活の眞の心構へだ

明治製菓株式會社・献納廣告

寫眞週報
昭和十三年二月十二日　第三種郵便物認可　昭和十六年二月廿六日發行（毎週一回水曜日發行）　第百五十七號

内閣印刷局印刷發行

（本書の大さは國定規格Ａ４・［週報倍判］）